

# 令和4年度 早川町教育委員会活動の点検・評価を公表します

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しています。

早川町教育委員会では、それぞれの項目について前年度の点検・評価を行い、上・中・下の3段階による評価を実施しました。評価の結果と各項目に対しての所見は次のとおりです。

教育委員会では今回の点検・評価の結果を踏まえて、事務改善を図りながら更なる教育行政の推進に努めてまいります。

## 令和4年度早川町教育委員会活動の点検・評価 (委員4名・職員6名＝10名)

項目	観 点	R2 評価	R3 評価	R4評価	上	中	下	所 見
総合評価	① 魅力的な山村の学校教育の実現を目指す。	上	上	Ⓔ 中 下	7	3	0	<p>昨年に続くコロナ禍の中で、日常生活はもとより学校教育・社会教育全般に影響があった一年となったが、感染者は少なからずいたが、最小限の影響で教育活動が行えた。</p> <p>そのようななかで、早川町長期総合計画、教育大綱等に基づき、早川教育の確立に向けて、学校、地域、教育委員会、行政の関係各機関が緊密な連携を図り、教育行政に取り組んでいた。新型コロナウイルス感染症の5類移行を見据えて、今後のアフターコロナの教育活動継続に取り組んでいく。</p> <p>山村の小規模校であるメリットを最大限に生かし、各学校において個性と特色のある学校運営を推進すると共に、地域住民との連携による地域ぐるみの教育の充実に努めている。児童・生徒の諸課題は少なからず見受けられるが、保護者の理解を求め、学校・教育委員会等それぞれが協力して、課題の解決にあたっていく。</p> <p>児童・生徒数の確保は喫緊の課題であるため、山村留学制度の更なる推進を図り、引き続き児童・生徒数の確保に努めていく。</p> <p>社会教育においては、コロナ禍の影響によるイベント等の中止・縮小により、活動が停滞、伝統的山村文化の担い手減少により、文化の保存、継承は厳しい状況に置かれている。新規の生涯学習活動等の検討により、伝統文化の継承に努める。また文化財の積極的な保存・保護にも努める必要がある。</p>
	② 学校・地域ぐるみの教育の充実に努める。	上	上	上 Ⓕ 下	4	6	0	
	③ 社会教育の充実に努める。	中	中	上 Ⓖ 下	0	10	0	
	④ 伝統的山村文化の保存・継承と創造に努める。	中	中	上 Ⓖ 下	0	10	0	
学校教育	⑤ 生きるちからを育む教育を推進する。	中	中	上 Ⓖ 下	1	9	0	<p>児童生徒数の減少が続いている中、各学校の特色を生かした少人数教育を積極的に推進し、学校現場と地域との密接な交流を通じて、小中3校体制での早川教育の推進を図っている。</p> <p>義務教育経費無償化事業・給食費無料化事業を継続する事により、義務教育に掛かる子育て世代の負担軽減を図り、子育てしやすい環境の整備に努めるとともに、小規模校ゆえの教員配置等のデメリットを解消し教育水準を向上するため、町単教員を配置する事で、複式学級の解消に努めている。</p> <p>教育現場でのICT環境整備のため電子黒板等必要な機器の整備を進めるとともに、学校施設長寿命化計画に則り、経年劣化による改修等を実施し、快適な教育環境の提供に努めている。ギガスクールにより整備したICT機器の家庭持ち帰りを含めた今後の学校現場での活用が、今後の課題となる。</p> <p>南小の器楽活動、北小の民話劇や自然体験活動、中学校の合唱や白鳳太鼓等、それぞれの学校が特色ある教育を行っているが、児童生徒数の減少で厳しい面もある。今後もその活動が継続できるよう教育委員会はもとより、地域ぐるみで支援していく。</p> <p>小中学校における不登校等諸問題の解決には、保護者の理解が不可欠のため、学校・教育委員会と相互に連携しその解決に努める必要がある。</p> <p>山村留学は、昨年度より始めたオンラインによる説明会を定期的に開催するとともに、新たな取り組みとして公式インスタグラムの運用を始めることにより、1世帯2名の児童を新年度に迎え入れることとなり、一定の成果をあげることができた。アフターコロナを見据えて情報発信を進め、留学後のギャップ解消等関係機関と連携した取り組みの強化により、児童・生徒の確保に一層努める必要がある。また、SNS等を活用した積極的な情報発信により、地域と学校の魅力を発信し、新たな留学希望者の発掘と留学生の増加による児童生徒数の確保につなげていく。</p>
	⑥ 少人数教育の充実に努める。	上	上	Ⓔ 中 下	8	2	0	
	⑦ 充実した教育機器と学校施設の活用を図る。	上	上	Ⓔ 中 下	7	3	0	
	⑧ 個性ある学校の充実に努める。	上	上	Ⓔ 中 下	6	4	0	
	⑨ 学校間の交流を推進する。	中	中	上 Ⓖ 下	1	9	0	
	⑩ 山村留学の推進を図る。	上	上	上 Ⓖ 下	5	5	0	
	⑪ 学校開放と地域との連携を図る。	中	中	上 Ⓖ 下	1	9	0	
社会教育	⑫ 生涯学習の推進を図る。	中	中	上 Ⓖ 下	0	9	1	<p>昨年に続くコロナ禍のため中止・縮小となる行事もあったが、グラウンドゴルフ大会等を通じて、町民が活発にスポーツに親しめる機会を提供することができた。高齢化等による参加者の減少が課題となるため、広報活動や新種目の普及に努め、生涯スポーツの推進を図っていく。スポーツ施設整備については、グラウンド照明のLED化事業を行い、夜間環境の向上を図った。</p> <p>社会教育では、少子高齢化の中、伝統芸能・行事の保存には苦慮している。しかし、転入住民の積極的な参加により活性化している例もあることから、それぞれの価値を再確認し積極的な住民参加を促し、伝統芸能・文化の継承に努める。</p> <p>公民館活動・文化祭については、コロナ禍もあり町民の生涯学習への意欲の低下が懸念されるため、町民の関心をとらえながら行事自体の内容について、検討していく必要がある。</p> <p>重伝建事業については、来年の30周年に向けて実行委員会を開催し内容の議論が行えた。また、予算措置等実施に向けての準備も行うことができた。イベント開催に向けて引き続き準備を進めていく。来年度は保存事業も予定されているため、事務事業の適正な執行を心がける。重伝建全体としては、保存・活用の今後に向けた方向性について、地元・保存会と連携して考えていく必要がある。</p>
	⑬ 生涯スポーツの推進を図る。	上	上	Ⓔ 中 下	6	4	0	
	⑭ 郷土資料館の整備と充実及び運営を行う。	中	中	上 Ⓖ 下	0	10	0	
	⑮ 伝統芸能・行事等の保存と人材育成を図る。	中	中	上 Ⓖ 下	0	8	2	
	⑯ 生活文化等の保存に努める。	中	中	上 Ⓖ 下	0	9	1	
	⑰ 伝統的な町並みの保存と継承に努める。	中	中	上 Ⓖ 下	3	7	0	
教育委員	⑱ 教育委員は誠実に職務を遂行していますか。	上	上	Ⓔ 中 下	7	3	0	<p>毎月の定例会を通じて教育行政全般について厳正な審議が行えた。また、コロナ禍ではあったが学校行事や学校訪問等を通じて教育環境を把握し、諸問題の解決に向けて話し合い、迅速に対応することができた。また、総合教育会議を通じて、町当局とも積極的に意見交換ができた。</p>
事務局	⑲ 事務局職員は誠実に職務を遂行していますか。(服務・接客など)	上	上	上 Ⓖ 下	4	6	0	<p>少ない人数の中で課員一丸となり、協力して教育行政全般に取り組むことができた。</p> <p>今後も課内の連携を密にして、様々な教育課題に対応し、早川教育の推進に努める。また、服務規律を徹底し、丁寧かつ迅速な対応に努める。</p>